

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名 中部縦貫自動車道 一般国道158号 永平寺大野道路 <small>えいへいじおおの</small>	事業 区分 高規格幹線道路	事業 国土交通省 主体 近畿地方整備局			
起終点 自：福井県大野市中津川 至：福井県福井市玄正島町 <small>おおの なかつがわ</small> <small>ふくい げんしようしまちよう</small>	延長 26.4km				
事業概要 永平寺大野道路は延長約160kmにわたる中部縦貫自動車道の一部を構成し、大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路であり、高速交通ネットワークの形成、広域リダンダンシーの確保、災害時における安定した交通路の確保、高度医療機関へのアクセス向上、地域の活性化を図ることを目的に計画された高規格幹線道路である。					
H2年度事業化		H4年度都市計画決定			
全体事業費 1,290億円		事業進捗率 約53%			
計画交通量 5,400～19,200台/日		供用済延長 11.1km			
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"> B/C (事業全体) 1.2 (限事業) 3.0 </td> <td style="width: 40%;"> 総費用 (限事業)/ (事業全体) 512/1,379億円 (事業費: 426/1,293億円) (維持管理費: 86/ 86億円) </td> <td style="width: 40%;"> 総便益 (限事業)/ (事業全体) 1,531/1,595億円 (走行時間短縮便益: 1,297/1,358億円) (走行経費減少便益: 183/ 184億円) (交通事故減少便益: 52/ 53億円) </td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.2 (限事業) 3.0	総費用 (限事業)/ (事業全体) 512/1,379億円 (事業費: 426/1,293億円) (維持管理費: 86/ 86億円)	総便益 (限事業)/ (事業全体) 1,531/1,595億円 (走行時間短縮便益: 1,297/1,358億円) (走行経費減少便益: 183/ 184億円) (交通事故減少便益: 52/ 53億円)	基準年 平成21年
B/C (事業全体) 1.2 (限事業) 3.0	総費用 (限事業)/ (事業全体) 512/1,379億円 (事業費: 426/1,293億円) (維持管理費: 86/ 86億円)	総便益 (限事業)/ (事業全体) 1,531/1,595億円 (走行時間短縮便益: 1,297/1,358億円) (走行経費減少便益: 183/ 184億円) (交通事故減少便益: 52/ 53億円)			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動: B/C=3.5(交通量 +10%) B/C=2.5(交通量 -10%) 事業費変動: B/C=2.8(事業費 +10%) B/C=3.3(事業費 -10%) 事業期間変動: B/C=2.8(事業期間+20%) B/C=3.3(事業期間-20%)					
事業の効果等					
①高速交通ネットワークの形成 ・福井～東京の所要時間が短縮。(6時間30分→5時間40分: 50分短縮 [中部縦貫自動車道全線の効果]) ・福井～松本の所要時間が短縮。 (5時間5分→2時間55分: 2時間10分短縮 [中部縦貫自動車道全線の効果]) ・所要時間短縮により、「越前がに」などの生鮮食料品の出荷先拡大が期待。					
②広域リダンダンシーの確保 ・大雪等で通行止が頻発する北陸自動車道のリダンダンシーを確保。 ・中部圏、近畿圏で大規模地震が発生した場合、東日本を結ぶネットワークとして期待。					
③災害時における安定した交通路の確保 ・集中豪雨等により一般国道158号、一般国道157号、一般国道416号が通行止めとなった場合の代替路を確保。 ・一般国道158号の事前通行規制区間(連続降雨量140mm)の代替路線を形成。					
④高度医療施設へのアクセス向上 ・勝山市～第三次医療施設(福井県立病院)への所要時間が短縮。(42分→28分: 14分短縮) ・大野市～第三次医療施設(福井県立病院)への所要時間が短縮。(38分→32分: 6分短縮)					
⑤地域の活性化 ・奥越地域及び沿線地域における観光資源が有機的に連携されることにより、観光客の増加が見込まれ観光振興が期待。 ・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (大本山永平寺: 観光入込客数: 597,000人/年)					
⑥日常生活圏中心都市である福井市へのアクセス向上 ・大野市～福井市の所要時間が短縮。(38分→32分: 6分短縮) ・勝山市～福井市の所要時間が短縮。(42分→28分: 14分短縮)					
関係する地方公共団体等の意見					
地域から頂いた主な意見等: ・平成21年7月、中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会(石川県、富山県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県の知事より構成)より早期整備の要望を受けている。 ・平成21年6月、中部縦貫自動車道路建設促進福井県協議会(福井県知事、福井市長、永平寺町長、勝山市長、大野市長より構成)より早期整備の要望を受けている。					

県知事の意見：

・中部縦貫自動車道の整備促進

永平寺大野道路については、平成24年度供用が示された勝山・大野間に加え、それ以外の未開通区間の整備スケジュールの明確化を図るとともに、平成28年度までの早い時期に全線開通が図られるよう十分な事業費を確保すること。

大野油坂道路については、未事業化区間(大野・大野東間、和泉・油坂峠間)の一日も早い事業化の決定を行い、今後10年間から15年での全線開通を図ること。特に、新規事業化された大野・和泉間については早期に工事着手するとともに、概ね10年で開通させること。

・道路事業(新築・改築)の費用便益比の算出について

今後は、従来からの走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の3便益に加えて、企業立地の促進、観光振興、広域的なりだんだんシーの確保、高度医療施設へのアクセス向上、冬期における安全な通行確保など道路が持つ多様な効果を十分反映する総合的に評価する仕組みを導入すること。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道158号永平寺大野道路」の再評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり継続でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成5年に「スキージャム勝山」が、平成12年に「福井県立恐竜博物館」がオープンし、中京・関西方面から多くの観光客が訪れている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに11.1km(暫定2車線供用)供用済みであり、用地取得は約88%完了。今後残る区間の工事進捗を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、IC形式の変更や新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

再評価結果(平成22年度事業継続箇所)

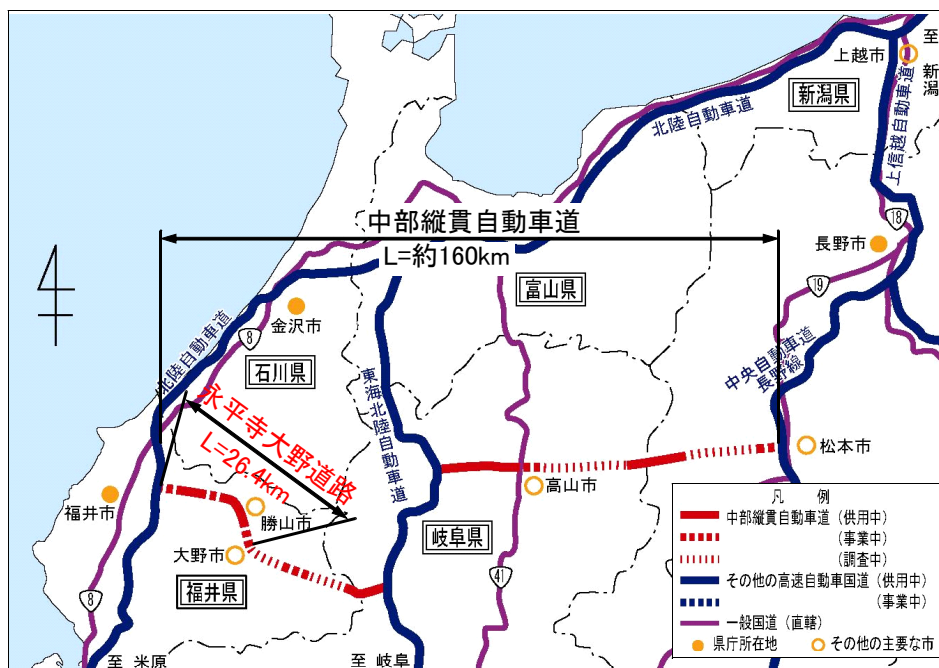
担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	中部縦貫自動車道 一般国道158号 永平寺大野道路	事業区分	高規格幹線道路	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：福井県大野市中津川 至：福井県福井市玄正島町	延長	26.4km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

